【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年11月14日(2024.11.14)

【公開番号】特開2023-85650(P2023-85650A)
【公開日】令和5年6月21日(2023.6.21)
【年通号数】公開公報(特許)2023-115
【出願番号】特願2021-199795(P2021-199795)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｊ　3/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｊ　3/00　３１０Ｋ
Ａ６１Ｊ　3/00　３１０Ｅ

【手続補正書】
【提出日】令和6年11月6日(2024.11.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
薬剤収容カセット内の払出部から、当該薬剤収容カセット内に一列に収容されている収容物である薬剤および隣り合う薬剤間を仕切る仕切り部材を、上記払出部に到達した順で一つずつ取り出す払出操作部を備えることを特徴とする薬剤払出装置。
【請求項２】
請求項１に記載の薬剤払出装置において、
少なくとも、薬剤のパッケージに付されている製造情報と、上記薬剤収容カセットに収容される仕切り部材の情報と、を関連付けた充填関連情報を作成して記憶する第１記憶処理部と、
上記仕切り部材の情報に関連付けられた上記製造情報を、当該仕切り部材の後に取り出される薬剤が提供される処方対象者に関連付けた払出実施情報を作成して記憶する第２記憶処理部と、を備えることを特徴とする薬剤払出装置。
【請求項３】
請求項１または請求項２に記載の薬剤払出装置において、上記薬剤収容カセット内の全体を検知するカセット内検知部と、上記カセット内検知部による検知結果に基づいて、上記薬剤収容カセット内に上記仕切り部材が存在するか否かを判断する仕切り確認部と、を備えることを特徴とする薬剤払出装置。
【請求項４】
請求項１～請求項３のいずれか１項に記載の薬剤払出装置において、上記薬剤収容カセット内に上記薬剤および上記仕切り部材がそれらの移動方向に並べられて収容され、上記払出操作部は、上記薬剤および上記仕切り部材を上記移動方向と同一方向に取り出すか、または上記移動方向と交差する方向に取り出すことを特徴とする薬剤払出装置。
【請求項５】
請求項１～請求項４のいずれか１項に記載の薬剤払出装置において、上記払出操作部により上記仕切り部材が取り出された場合、上記払出操作部によって薬剤を取り出す追加の操作が実行されることを特徴とする薬剤払出装置。
【請求項６】
請求項１～請求項５のいずれか１項に記載の薬剤払出装置において、上記仕切り部材は

、その大きさを変更できる可動板部を有することを特徴とする薬剤払出装置。
【請求項７】
請求項１～請求項６のいずれか１項に記載の薬剤払出装置において、上記払出操作部により取り出される上記薬剤収容カセット内の収容物または上記払出操作部により上記薬剤収容カセットから取り出された収容物が上記仕切り部材であるか否かを認識する仕切り認識部を備えることを特徴とする薬剤払出装置。